

関東支部

●支部長 小室 宏
 (62年度卒)
 ☎0429・72・7631
 (自宅)
 飯沼市美杉台1-26-15

黎明期の関東支部を回顧

ここ2、3年、県立大学から先生をお招きして、「囲む会」を開いています。今年は、行政法の吉居秀樹先生を囲むので、9月23日（金曜・祝日）14時から池袋の東京芸術劇場第5会議室で行います。
 ●もちろん懇親会（17時から）二次会（19時から）もありまので、ご都合がつく時間にお越しください。
 この会報と前後して、往復はがきの案内状を発送しています。が、届かない方は私の自宅（042・972・7631）までお電話ください。
 吉居秀樹先生は、昭和62年から県立大学で教鞭をとっておられ、現在は学生部長の要職に有らせられます。吉居ゼミ卒業生の方、吉居先生に迷惑をかけた方？は必ずご出席くださいね。

さて、関東支部の中心的活動である就職支援の活動、その象徴のOBゼミナーについて、黎明期の頃のお話をします。
 時は遡ること11年前の平成6年6月の支部総会での話からです。
 渋谷のレストランでの支部総会・懇親会の席で、こんな意見が出されました。
 「同じ大学の卒業生が集まって飲み食いしているのだが、なんかもうちよつと建設的なことはできないだろうか」
 「大学は同窓会を単なる親睦団

体と思っている、という噂を聞いたけど本当だったらくやしいね」
 「学科が増え、2倍の学生数になっても、東京では県立大学を知っている人は相変わらず少ないよね」
 「同じ会社ほかの人は、先輩がいてさみしいのに、こちらは少数派でさみしいね」……。
 そんな議論の中で、同窓会をOB同士の飲み食いの会だけにしたいくない、何か大学のため、後輩のために出来ないだろうかと、いう方向へ纏まっていきまし

とはいっても、東京と佐世保の距離は1200キロもあり、県立大学へ足を運ぶことも、学生さんに直接会って話を聞くこともままなりません。どうしたものかと思案しているときに、ゼミ旅行として東京に来て企業を訪問している教授・学生のグループがあるという情報が入ったのです。
 教授の知り合いの企業を訪問すること、学生の就職への意欲向上につなげようというものでした。
 私たちは、そうか、「大学のため、後輩のため」には学生の就職活動を支援すれば良いのだ、と光明を見いだしたのです。
 早速、県立大学に連絡をとり、ゼミ旅行のお手伝いがしたい旨、申し出たのです。
 当時、就職委員長であられた南方教授と井上総務係長が来京され、平成7年3月、四谷の長崎寮へ徳丸前支部長と小野総務担当役員がお伺いしました。
 残念ながら私はその時風邪をひいて欠席したのですが、南方教授がおっしゃるには、各々、ゼミの教授が知り合いの企業へ訪問しているが、どうしても業種が偏ってしまっている、学生の

Bの協力申し出は誠にありがたいです。
 こちら側は、OBに呼びかけて、訪問を受け入れてもらえる企業を探してみます、という話になりました。
 そこで、総務課が窓口となつて参加する3年次生を集めていただき、関東支部は訪問する企業の選定・アポイントメントと当日の引率をすることになりました。
 5月の支部バーベキュー大会での打ち合わせで、訪問する企業や引率者も決まりました。
 そして、その時に更なる企画も考え出されました。（後述）
 記念すべき第1回のゼミナーは就職委員長自らの呼びかけもあり、6ゼミ34名の3年次生が参加して、平成7年7月に実施されました。

	7/12 (水)	7/13 (木)	7/14 (金)
午前	学生集合	企業等の訪問	企業等の訪問
午後		企業等の訪問	学生解散
夜	OBとの懇談会	OBとの懇談会	

(平成7年第1回関東就職セミナースケジュール)

夜の時間帯の「OBとの懇談会」というセッションにお気づきだと思ひます。
 それは、日中は仕事で協力できないOBから、是非とも来京する3年次生と話がしたいという要望から生まれたものでした。
 OBには、自分の職務・会社・業界のこと、かつての自分の就職活動など、参加した3年次生の就職に対しての意欲を高めるような話をお願いしました。
 宿泊している四谷・長崎寮では



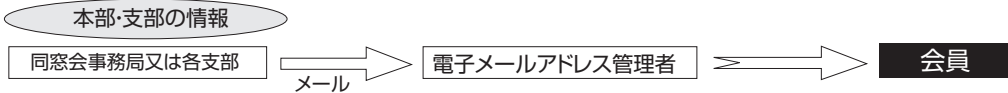
広いスペースがありませんでしたので、隣駅の市谷・私学会館（アルカディア）の宴会場を予約しました。
 当日、都合がついたら参加してほしいという呼びかけに、1日目2日目合わせて19名のOBが集まりました。
 1人20分の持ち時間は皆さん超過し、会館の係から時間オーバーの厭味を言われながらOBは熱く語り、その思いは確実に3年次生に伝わりました。
 「企業などの訪問」は三和シャッター株式会社様、環境エンジニアリング株式会社様、境界エンジニアリング株式会社様、ジェイティコクラブ様や東京証券取引所、新宿カメラ量販店街、秋葉原電気店街、東京デイズニールンドなどへ、4つのグループに分かれて訪問・見学しました。
 ただ、出来るだけ多くの所をと考え、途中でのグループ合流を図ったところ、東京の大混雑の中、予定どおりの行動がとれず、あたふたする場面もありました。
 でもそんな失敗が後のOBゼミナー充実の糧となったのです。
 昔話をしてしまいました。
 17年度は、すでに「18年1月13日金曜から16日月曜まで」と決まっています。
 OBゼミナーの日程をあなたのスケジュール帳に載せ、ご参加いただけるよう調整をはじめてください。
 メール受信の可能な方は、komuro@ho-yu.comまで、アドレスをお知らせ下さい。
 11月以降に、詳しいご案内を差し上げます。

メールでの情報を希望の会員はアドレスをお教えてください。

年々会員数が増加するなかで、総会や各支部活動の案内の連絡を、従来の郵便に頼っていたのでは、同窓会活動経費を圧迫してしまいます。そこで今後は積極的に電子メールを使った情報連絡に取り組むことを決議しました。つきましては、会員の皆様のメールアドレスを管理者にお教えてください。なお、会員の皆様からいただいたメールアドレスは、プライバシー保護の観点から、厳重に管理し、他へは一切漏らしませんので、ご安心ください。

メールアドレスの管理者氏名／小室 宏・役職／関東支部支部長・アドレス／komuro@ho-yu.com

●メールによる情報連絡の流れ



長崎県立大学同窓会 鵬友会会報

おとしり

Vol.18

発行

長崎県立大学鵬友会
 佐世保市川下町一二三（大学内）
 ☎〇九五六一四七―五一四六
 四二二〇 四七 九〇四四

開学四〇周年を
 目前にして

鵬友会会長 前田 敬二



平成17年の役員会は、去る7月14日、16年度活動報告並びに決算の承認、17年度予算案の審議等を行い、新たな17年度の鵬友会の運営に向けての活動を開始しました。

母校長崎県立大学はすでに独立行政法人と肩書きが改まり新年度を迎えています。
 昨年度の就職率が95%に限りなく近い実績を出すことも出来、新たに学科の編成替え等を行つて

大学に対する評価もますます高まっております、少子高齢化する社会における大学淘汰の時代を乗り切る力がつきつあるものと思えます。
 さてこの様なときに創立40周年という節目が平成18年には到来することになります。鵬友会もこの節目にどの様に関わり盛り上げていくことができるか今から準備することが肝要ではないかと考えます。



れた年であり、大学の強力なバックアップがあつたことを忘れることはできません。
 また、30周年は鵬友会活動が地に足を付けた年でした。就職ゼミナー等大学との連携が実践されることにより、新しい同窓会活動の姿が見え始めました。PRビデオの作成を行い九州各地の高校に送付したところ、翌年の入学志願者が急増したということもありました。40周年はこれらの過去の節目に劣ることのない鵬友会の活動が期待されます。

就職率
 94.7%
 昨年を大きく上回る
 長崎県立大学
 就職課 豊里 智明

鵬友会会員のみなさま、いつも後輩へのご指導・ご支援を頂き誠にありがとうございます。

今春卒業生の就職率が（94.7%）求職率は（74.7%）と、共に昨年度を大きく上回ることが出来ましたのも皆様のご支援の賜ものだと思ひ感謝申し上げます。
 ここ数年、学生が前向きに就職活動と取組み、就職課の利用も増加して積極的な行動が見られるようになってきました。

それは就職ゼミナーに参加を希望する学生数や参加後の学生の行動にも現われています。
 昨年度佐世保ゼミナーには約150名の申込みがあり、これに参加した学生は、就活のリーダーとして他の学生に影響を与えており今年の内定取得者は昨年を上回るペースで増加しております。
 また東京ゼミナーには20名が参加しましたが、その学生はOB指導者の熱意と情熱を満身に受け止めて早いテンポで就活に取組み、私共の手足となつてがんばってくれています。

本学は鵬友会で就職支援をしていただける素晴らしい先輩達にも恵まれ、学生も他大学にない暖かい雰囲気の中で研究やクラブ活動に専念でき、また先輩方の功績や先生方の協力で企業からの求人数も増加して就活に明るい材料が整つて来

益々充実した
 鵬友会ホームページを
 見えていますか？

現在、鵬友会のホームページは随時リニューアルし、最新情報が盛り沢山。デザインも、以前とは一味違ったホームページになっています。
 大学の近況、鵬友会の活動状況、会員の声など情報が一目で。もちろん住所変更等にもご利用いただけます。

【ホームページアドレス】
 http://homepage1.nifty.com/ho-yu/

求む、セミナー応援者

本年は11月12・13日開催、参加学生は150人以上。多数の応援者を期待。

厳しい社会状況に比例するように、年々就職セミナー参加希望者の増える状況下で、未来を担う学生の熱い想いに応えるため、鵬友会では大学と一体となり、実行細則しながらセミナーメニューを考えてきました。模擬面接、OB体験談、ミーティングや講演会、自己分析等。
 毎年これらのスケジュールを実施するにあたっては多くのスタッフが必要となりますが、応援OBスタッフの数が不足しています。先の見えない今日だからこそ、県立大OBとして就職セミナーの応援にかけつけて頂けませんか。
 未来を見据えて輝くまなざしをもった学生から、逆に元気をもらい、リフレッシュした自分を発見することもあるはずです！

お問い合わせ・お申し込みは
 各支部長又は鵬友会事務局まで

法人化1年目の今年も佐世保、東京、大分での就職セミナーでは大変お世話をおかけしますが、在校生の「将来の夢」実現に向けて更なるご協力をお願いしたいところでございます。
 今年は資格取得、就職率等とも今春以上の目標を掲げてがんばっておりますので、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最近はや学内で資格取得を目指す学生も増加し、特にファイナンシャルプランナーの課外講座には、般の方も含めて毎回250名ほどが受講して、本学の人気講座として定着しており、就職する学生にとっては2級資格取得が目標となり、低学年の受講者も増えてきました。
 毎年、新入生を対象に意識調査を実施して本学を選んだ理由等を尋ねておりますが、今年も「就職率が高い」「資格が取れる」といった声が多く寄せられています。
 今後、入学志願者の学校選別の目は更に厳しくなっていくものと思われ、本学で、私共も入学から卒業まで環した個別指導に重点を置いた支援体制を構築し、今まで以上に「選ばれる大学」を目指して努力しなければならぬと思っております。

佐賀支部

●支部長 森田 茂
(47年度卒)
☎0955・46・4767
(自宅)
西松浦郡西有田町神内936

セミナーで貴重な体験

平成16年11月6・7日に1泊して佐賀支部恒例の支部総会を佐賀県呼子で実施しました。総会には前田会長、平山前学長にも出席していただき総勢24名の参加者となりました。2年に1回の総会とあって懐かしい顔ぶれが揃い、和気藹々のもと総会も無事終了し、懇親会に入るやアルコールの助けもあり、皆さんテンションも上がり、大盛り上がりの中に懇親会も終りました。翌日は日本三大朝市の一つ呼子の朝市で特産

関西支部

●支部長 星 憲男
(47年度卒)
☎0720・65・5750
(自宅)
高石市千代田1-2-7

支部総会を10月に開催

平成16年の支部総会からはや1年近く経過しましたが、皆さん如何お過ごしでしょうか。それぞれの分野で活躍されていることと思います。さて、鵬友会関西支部はその後、就職セミナー(11月20・21日/於…佐世保)参加。○異業種交流会(3月20日/21日/於…鵬友会関西支部セミナーハウス)開催と、活動を行ってまいりましたが、関西在住の会員数に比べれば、参加者

大分支部

●支部長 稲葉 茂雄
(47年度卒)
☎097・543・8068
(自宅)
大分市青葉台2丁目9-10

大分支部紳士録

鵬友会も発足して約40年、会員も一万人を超え、全国各地で活躍のことと思います。そこで今回、大分支部会員の活躍の様子を紹介したいと思えます。なお、紙面の都合上、ごく一部の方々の紹介に留まることをお許しいただきたいと思

米澤金作氏(1971年卒)

地元大分銀行にて、6ヶ店の支店勤務後、銀行の信託業務取扱開始に当たり当時の信託銀行に出向等ノウハウ習得、約8年間本所の同業務責任者として活躍、その後津久見支店長(津久見市)に就任。二年間の勤務の後01年地場大手企業に役員として迎えられる。現在では会社で勤務と同時に、「厚生省認定・産業カウンセラー」「中央労働災害防止協会認定・心理相談員」「全産能連認定CDA」として、お忙しい毎日である。

今回は大学から出席者全員に最新の大学紹介パンフレットを贈っていただき、後輩の現状を詳しく知ることができました。一人でも多くの方に新年会などに参加していただくよう工夫の必要がありそうです。皆様の「ご意見をお寄せいただければ幸いです。

諸田義信氏(1973年卒)

在学中陸上部で活躍。グラン

福岡支部

●支部長 浜辺 千昭
(46年度卒)
☎092・885・0658
(自宅)
福岡市西区香椎区2-4-303

新しい福岡支部を目指す

3月、福岡では考えてもみなかった大地震。これまで他人事とばかり思っていたが……。ソファにしがみついてどうしようもない。会社に行ってみるとメチャクチャ。コンピュータは落ちていくし、冷蔵庫、本棚は散乱。しばらく呆然の後、片付け。その後しばらくは余震恐怖症に。こんなに身近に起こるとは……。被害に遭われた皆様にはお見舞い申し上げます。

福岡支部の活動を報告します。去る1月29日(土)福岡支部の総会・新年会をヤフードーム・スーパーボックスで開催しました。

当日は少し天候が下り坂では有りましたが、役員の呼び掛けと新しく場所を設定したこともあって、近年にない30余名が集まり、5時15分から支部総会をスタート。支部長の挨拶に続き、本部前田会長の挨拶、更には一年間の活動報告と進みました。

全国各地で おおとり達が 翔いていきます

ドで黙々とトレーニングをしていた姿が印象的。40歳で一念発起、マスターズに出場、以来怪我や故障と戦いながらも出場を続け、昨年のワールドランキングにもその名を刻んでいる。また、審判員・指導員の資格を取得、大分市の陸上教室で子供達の指導にも尽力、その成長を楽しみにしている。息の長いアスリートである。

――最近の記録(2004年)――
百米、13秒2(大分県大会)
また、氏は現在地元大分大学の就職支援室長の要職にあり、当支部の就職ガイダンスにも参加、本年2月のセミナーでは、我県立大学と地元大分大学の二大学の就職支援室長の同席が実現した。

徳丸壽良氏(1973年卒)

在学中は、野球部員として70年本学初の全国大会(神宮球場)に出場、約20年間住宅資材関係の会社勤務の後、故郷の野津町に帰り農業を決心、ニラ栽培を始める。その後、しいたけ栽培に魅力を感じ「菌床シイタケ」に挑戦、持前の研究熱心により独自の栽培理論を確立、今では年間15万パックを生産する県下有数の菌床シイタケ生産者である。「経営を安定させるには販売先の確保を必要」と、現在では独自の販売ルート開拓により、八割を量販店に直販、二割が市場出荷である。シイタケ栽培を通じて地域貢献にも尽力。昨年は地元小學生を指導、その作品を品評会に出品「審査員特別賞」を受賞、また、市町村合併を機に子供達のマチとムラの交流活動も行つて

佐世保市福岡事務所 白仁田所長、ふくおか佐世保会 藤田事務局長、大学より山本喜代治先生、稲永明久先生、星野事務局長、そして大分

支部稲葉支部長にご出席頂き、それぞれの立場から有意義なお話を聞かせて頂きました。

宴会では、今回残念ながら欠席されましたが、平山学長より頂いたお酒に酔いながら、山本先生に日本一の尺八の披露を頂き、その音色に聞き入っていました。

さらに今ではソフトバンクホークスになりましたが最後のダイエーホークスとしての、寺原・杉内投手の直筆サイン色紙、佐世保出身の城島選手のスイングなどが当たる抽選会で盛り上がりました。

そして最後は「こころ」は九州の佐世保の街よ、佐世保の街なら大学は国際………」と榊原氏の熱唱で締めました。そして二次会へ。



また昨年11月に開催された就職セミナーへは4名での応援をしました。毎年参加すると自分自身の勉強にもなり、今年はどんな学生に会えるのかと楽しみにさえなつてき

いる。前回の就職セミナーでは特別講話を頂きました。

田辺誓司氏(1974年卒)

卒業後、大分県に在籍、99年から医務主幹を務め、介護保険制度の導入に直接携わり、02年介護福祉の現場(民間の老人保健施設)に身を転じられました。

氏は県在籍27年のうち9年間に及ぶ医療行政の法的・行政的指導の体験を踏まえ、04年「私の福祉論」(聴風舎、発行者・河野昭治氏・74年卒業)を発表。

その書の「若者への提言」の項に「自の膨張は独善的に陥り、他への傾倒は依存主義、人任せ主義になつてしまふ。要は、それがうまく均衡した場合が最善

その他支部連絡先

中国支部
支部長・平岡 弘幸(49年度卒)
広島市西区楠木町4丁目1・20
電話082・237・9233

長崎支部

●支部長 古川 信利
(46年度卒)
☎0958・25・6477
(自宅)
長崎市五島町5-34-1110

支部総会を工夫したい

恒例の長崎支部新年会は平成17年1月22日午後6時から、長崎市筑後町、セントヒル長崎で開いた。毎年のように出席いただく岡崎寛教授は、23日に広島での全国都道府県対抗男子駅伝などのためおいでになれず、星野孝通大学事務局長も、22日、五島市で開いた県政タウンミーティングに平山祐次

ます。皆さんも機会があったら参加してはいかがでしょうか?

もう一つの活動でもある「ふくおか佐世保会」については、福岡支部会員の中には参加された方もいらっしゃるかと思います。1月の「新春の集い」、6月11日の「周年記念総会」、そして、佐世保市から600名、福岡から400名が参加してヤフードームで7月3日に行つた「城島選手応援デー」、更には11月5・6日予定の「ふるさと佐世保市への訪問ツアー」など毎月多くの会議を重ねながら試行錯誤しております。

福岡支部会員の皆さん、ふくおか佐世保会へも入会してみませんか? 城島後援会、ゴルフ部会、女性部などいろいろな出合いがありますよ。電話092・741・8860

今回は佐世保がロケ地。
懐かしい場所が見つかるかも

釣りバカ日誌16



●「釣りバカ日誌16」は4月8日にクランクインし、5月6日より佐世保にて撮影を開始。長崎県での撮影は5月21日まで行われ、東京でのセット撮影が終了後、6月上旬にクランクアップ。8月13日から長崎県下において先行ロードショーが開始され、8月27日より全国公開される。また、全国の釣りバカ日誌ファンの皆様に感謝の意を込めて、映画鑑賞入場券は全国一律1,000円興行。

8/27日(土)より
全国上映 ※長崎地区は8/13より興業



佐世保市では、現在、「西海国立公園50周年記念事業」を展開していますが、この節目の時期に、長崎県が2003年9月に「西海国立公園九十九島海のダイヤモンド計画」を策定。2004年度から2012年度までの9年間の施設整備が予定される中、2004年6月には、環境省が推進する「エコツーリズム推進モデル事業」のモデル地区として、全国13地区のひとつに佐世保地区が選定されました。一方、佐世保の観光に大きな影響を及ぼしているハウステンボスは、2003年2月に経営破綻したものの、2004年6月には、日本を代表する企業による支援が決定、大きな期待を背負い、再建策も本格化し、現在も訪れる多くの人々を楽しませています。

●国立公園とは？
「国立公園」とは、「自然公園法」という法律において、「我が国の風景を代表するに足る傑出した自然の風景地」と定義されているもので、現在、日本には28の国立公園が存在しています。西海国立公園は、1955年（昭和30年）3月16日に、全国で18番目の国立公園として指定を受け、今年で50歳という節目を迎えました。

●ハウステンボス
ハウステンボスは、「オランダの街並みを再現したテーマパーク」ということにとどまらず、「人と自然がどのように共生していくべきかを実践する実験都市」であり、唐の長安を模して創られた京都が現在では日本を代表する場所になっているように、「千年のときを刻む」ことを目指した本物の街でもあります。
「世界一の花のリゾート」「女性のためのリゾート」を目指し、宿泊客重視の方針で、新たな取組みが始まっています。



●西海国立公園50周年記念事業
佐世保市では、2004年度から、「西海国立公園指定50周年記念事業」の取組みを始めましたが、これを一過性のものとすることなく、また、観光行政だけの一部の取組みに終わらせることなく、全市民的なものへの広がりを期待し、統一的な考え方をもって進めるために、2004年11月に「西海国立公園指定50周年記念事業基本構想」を策定しました。基本構想では、まず、記念事業の理念を示すこととし、「飾らない（化粧しない、素顔のまま）」「いつまでも（永遠に）」「大切に」としました。具体的な記念事業は下記の通りです。

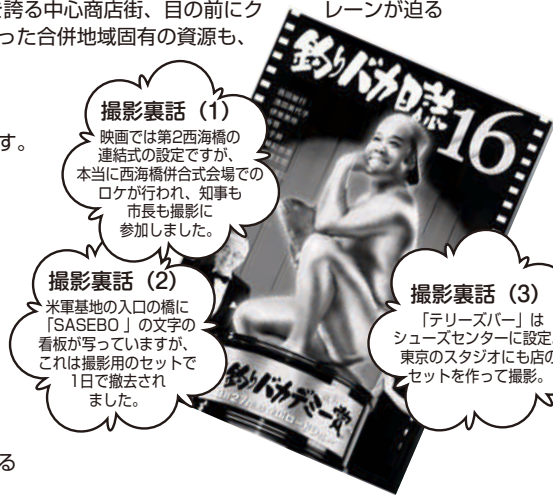
1)リーディング事業
リーディング事業とは、国及び県と連携して、国や県の支援も受けながら推進する複数年度にまたがる事業のことで、具体的には、「九十九島海のダイヤモンド計画推進事業」と「エコツーリズム推進事業」のふたつを掲げております。
1.九十九島海のダイヤモンド計画
2002年度から2003年度にかけて佐世保市が策定した「西海国立公園南九十九島体験型利用促進基本構想」の考え方を尊重して、長崎県では2003年9月に、「西海国立公園九十九島海のダイヤモンド計画」を策定しました。この計画は、九十九島という優れた景観を持つ場所に、多くの方々がもう一歩近づいて、その魅力を体感できるように、必要最小限の施設を、環境や景観に配慮しながら整備しようというもので、展示機能の拡充、展望機能向上、シーカヤック体験機能整備、無人島体験機能整備などが盛り込まれています。整備エリアとしては、南九十九島地域を中心に、小佐々町、鹿町町にまたがっています。

2.エコツーリズム推進
2004年6月に、佐世保地区は、環境省から、「エコツーリズム推進モデル地区」として選定されました。数ある候補地の中から、世界自然遺産に登録されることが決定した知床、既に世界自然遺産に登録されている屋久島、白神山地などと並んで、全国13地区のひとつに選定されたことで、にわかに注目を集めることとなりました。
佐世保地区がモデル地区として選定されたのは、九十九島係の設置や西海パールシーセンターにおける九十九島調査室の活動など、九十九島に関しての調査研究に取り組む姿勢と、ハウステンボスという観光施設が、単なるテーマパークにとどまらず、人と自然との共生のあり方について、とことん追求してきた街であることが評価されたことによるものです。環境省の定義では、エコツーリズムとは、「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学びとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかた」ということです。その効果としては、
■環境保全/旅行者や住民の意識の高まりと地域資源の保全
■観光振興/新たな観光需要の喚起
■地域振興/雇用の確保、経済派及効果、住民の誇り感醸成といったことが掲げられています。
佐世保市では、環境省と共同して、2005年度中に「エコツーリズム推進基本計画」を策定することとしており、2006年度中に行う予定の「エコツーリズムの実践実験」まで、環境省との共同により展開することとしていますが、この取組みは、2007年度以降に本格化するものであり、具体的には、九十九島とハウステンボスがシンボルとはなりますが、連続した直線の長さでは日本一を誇る中心商店街、目の前にクレーンが迫る造船所、400年以上の伝統工芸「三川内焼」などに加え、世知原、吉井、小佐々、宇久といった合併地域固有の資源も、エコツーリズムの素材として大いに活用できるものと考えます。

2)記念イベント
記念事業のテーマに沿った、九十九島の祭典、九十九島エコ講座などの市民参加型のイベントです。
3)記念式典
西海国立公園指定50周年を正式に祝う式典で、5月29日に開催されました。

4)第47回自然公園大会
環境省と長崎県などが主催し、常陸宮殿下と同妃殿下がご臨席になり、8月3日と4日の2日間開催。

5)映画「釣りバカ日誌」誘致
財団法人佐世保観光コンベンション協会など民間が中心となり、誘致活動を展開した結果、佐世保を中心とする長崎県でのロケが実現しました。映画は8月27日から全国で公開。
映画「釣りバカ日誌」の上映を機会に、2008年度には、九十九島の認知度を50%まで高めることを目標としています。



平成17年7月17日

平成17年度予算

(収入の部)		(単位：円)	
	科 目	予算金額	備 考
1	会費（卒業生）	240,000	@12,000×20名
2	会費（新入生）	5,880,000	@12,000×490名
3	名簿代	—	
4	預金利息	1,500	
5	雑収入	60,000	激励会会費 60,000
	(小 計)	6,181,500	
	前年度繰越金	381,981	
	合 計	6,563,481	

(支出の部)		(単位：円)	
	科 目	予算金額	備 考
1	鵬祭援助金	250,000	
2	卒業記念品代	250,000	
3	通信費	1,000,000	
4	人件費	900,000	
5	支部活動費	700,000	
6	旅費交通費	150,000	
7	渉外費	300,000	
8	事務局費	450,000	
9	印刷費	800,000	
10	鵬友会基金特別積金	451,400	
11	40周年積立金	—	
12	留学生関係費	350,000	
13	会議費	100,000	
14	総会費	300,000	
15	雑 費	62,081	
16	部活援助費	—	
17	就職活動援助費	300,000	
18	留学生奨学金	200,000	
	(小 計)	6,563,481	
	次年度繰越金	—	
	合 計	6,563,481	

平成17年3月末日

平成16年度貸借対照表

(単位：円)	
資産の部	負債・資本の部
現 金	224,633
普通預金	137,348
定期預金	5,973,291
出資金	20,000
計	6,355,272

同窓会は終身会費で運営されています。会費納入にご協力下さい。

平成17年3月末日

平成16年度予算及び決算報告書

(収入の部)		(単位：円)	
	科 目	予算金額	実績金額
1	会費（卒業生）	240,000	252,000
2	会費（新入生）	6,012,000	6,012,000
3	名簿代	—	6,000
4	預金利息	1,500	1,402
5	雑収入	300,000	293,000
	(小 計)	6,553,500	6,564,402
	前年度繰越金	485,072	485,072
	合 計	7,038,572	7,049,474

(支出の部)		(単位：円)	
	科 目	予算金額	実績金額
1	鵬祭援助金	250,000	250,000
2	卒業記念品代	300,000	252,000
3	通信費	1,300,000	1,254,482
4	人件費	900,000	853,750
5	支部活動費	700,000	700,000
6	旅費交通費	100,000	204,170
7	渉外費	350,000	307,993
8	事務局費	500,000	413,959
9	印刷費	800,000	982,910
10	鵬友会基金特別積金	1,000	301,366
11	40周年積立金	300	—
12	留学生関係費	100,000	—
13	会議費	100,000	72,083
14	総会費	1,000,000	732,370
15	雑 費	87,272	42,410
16	部活援助費	250,000	—
17	就職活動援助費	300,000	300,000
	(小 計)	7,038,572	6,667,493
	次年度繰越金	0	381,981
	合 計	7,038,572	7,049,474

《収入合計》 7,049,474―《支出合計》 6,667,493＝《次年度繰越金》 381,981

平成16年6月25日 鵬友会会長 前田 敬一

収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。
会計監査 宮地 学 ・千北 裕吉

平成17年3月末日

平成16年度財産目録

(単位：円)	
預金種目	金 額
現 金	224,633
普通預金	137,348
定期預金	5,973,291
預金合計	6,335,272
出資金	20,000
合 計	6,355,272